

科目コード	A314
授業科目名	在宅看護学方法論演習
授業科目名（英文）	Practice in Home Care Nursing
講義室等	1105
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学年	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	看DP-2、看DP-3、看DP-5
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	丸山 泰子
授業の概要	在宅療養者・児の日常生活支援に必要な技術、および在宅で医療機器を使用する療養者・児および家族へ必要な看護技術を学修する。また、事例展開を通して在宅看護過程の特徴を学修する。
授業の到達目標 (学修効果)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅における日常生活援助技術の特徴が説明できる。</li> <li>2. 在宅における医療管理の特徴が説明できる。</li> <li>3. 演習を通して医療管理技術の一部を実施し、看護援助のポイントが説明できる。</li> <li>4. 事例展開を通して在宅看護過程の特徴が説明できる。</li> </ol>
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習15時間
成績評価方法	授業への参加姿勢(10%)、課題レポート(30%)、筆記試験(60%)とし、60点以上を合格とする。
教科書	正野逸子 本田彰子編 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術 2019 メディカルフレンド社 上田 泉編 在宅看護過程演習 2019 クオリティケア
参考書	
その他	

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R3.4.5	月	V	在宅における看護過程の特徴 予習 教科書の該当部分を読む 復習 配付資料、ノートの振り返り	講義	野元 由美		
2	R3.4.12	月	V	在宅における看護過程の展開(1) 予習 教科書の該当部分を読む 復習 配付資料、ノートの振り返り		野元 由美		
3	R3.4.19	月	V	在宅における看護過程の展開(2) 予習 教科書の該当部分を読む 復習 配付資料、ノートの振り返り		丸山 泰子		
4	R3.4.26	月	V	在宅における看護過程の展開(3) 予習 教科書の該当部分を読む 復習 配付資料、ノートの振り返り	演習	野元 由美		
5	R3.5.10	月	V	在宅における看護過程の展開(4) 予習 教科書の該当部分を読む 復習 配付資料、ノートの振り返り		丸山 泰子		
6	R3.5.17	月	V	在宅における看護過程の展開(5) 予習 教科書の該当部分を読む 復習 配付資料、ノートの振り返り		野元 由美		
7	R3.5.24	月	V	在宅における医療管理技術(1) 在宅経管栄養法 予習 教科書の該当部分を読む 復習 配付資料、ノートの振り返り	講義	丸山 泰子		
8	R3.5.31	月	V	在宅における医療管理技術(2) 在宅中心静脈栄養法 予習 教科書の該当部分を読む 復習 配付資料、ノートの振り返り		野元 由美		
9	R3.6.7	月	IV	在宅における医療管理技術(3) 在宅酸素療法 予習 教科書の該当部分を読む 復習 配付資料、ノートの振り返り		丸山 泰子		
10	R3.6.14	月	IV	在宅経管栄養法演習/課題学習 予習 演習書の熟読 復習 演習からの気づき・学びの整理	演習	丸山 泰子		
11	R3.6.14	月	V	在宅経管栄養法演習/課題学習 予習 演習書の熟読 復習 演習からの気づき・学びの整理		丸山 泰子		
12	R3.6.21	月	IV	在宅における医療管理技術(4) 褥瘡・人工肛門・膀胱 予習 教科書の該当部分を読む読む 復習 配付資料、ノートの振り返り		丸山 泰子		
13	R3.6.28	月	IV	訪問入浴介護見学演習 予習 復習 見学演習からの気づき・学びのまとめ	見学演習	佐藤 恵梨香 野元 由美 丸山 泰子	2	
14	R3.7.12	月	IV	在宅酸素療法・非侵襲的陽圧換気療法演習 ／看護過程演習 予習 演習書の熟読 復習 演習からの気づき・学びの整理		帝人在宅医療 小山氏他 丸山 泰子 野元 由美	2	
15	R3.7.12	月	V	在宅酸素療法・非侵襲的陽圧換気療法演習 ／看護過程演習 予習 演習書の熟読 復習 演習からの気づき・学びの整理		帝人在宅医療 小山氏他 丸山 泰子 野元 由美	2	